

各位

上場会社名 特種東海製紙株式会社  
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司  
 (コード番号 3708)  
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 CFO 兼 財務・IR本部長 関根 常夫  
 (TEL 03-3281-8581)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	76,000	1,800	3,600	6,800	504.32
今回修正予想(B)	76,000	2,400	4,600	6,800	504.32
増減額(B-A)	0	600	1,000	0	
増減率(%)	0.0	33.3	27.8	0.0	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	80,603	2,870	5,389	3,694	266.07

### 修正の理由

2021年3月期の通期業績予想につきましては、2020年9月24日付にて、新型コロナウイルス感染拡大による特殊素材事業における特殊印刷用紙と海外向け一部製品の影響や生活商品事業におけるラミネート等の加工製品等への影響を想定し、売上高、営業利益の業績予想を下方修正させて頂きました。同時に当初未定としておりました経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を公表させて頂きました。

その後、2020年11月12日付にて、当期において投資有価証券売却益の計上が見込まれたため、親会社株主に帰属する当期純利益について業績予想を上方修正させて頂きました。

今般、特殊素材事業の特殊印刷用紙、生活商品事業のラミネート等の加工製品等の分野では、新型コロナウイルス感染拡大により引き続き厳しい状況が想定され、また、産業素材事業の売電事業において当第4四半期での大井川水系の濁水が新たに見込まれる反面、特殊素材事業の海外向け一部製品の需要が回復していること、生活商品事業のペーパータオルが堅調に推移していること、原価改善、経費および管理費の削減等による利益押し上げ要因が引き続き見込めることから、売上高につきましては前回予想を据え置くものの、営業利益は前回予想を上回る見込みであります。また、上記理由に加え、持分法による投資利益の見込みに変動があったため、経常利益についても前回予想を上回る見込みであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失を計上する可能性等の不確定要素が存在するなか、現段階では合理的に算定することが困難であるため、前回予想を据え置いております。

(注)上記予想値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以上